

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	南区白根健康福祉センター		
管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当課	南区役所健康福祉課		
所在地	南区白根1364番地12		
根拠法令	地域保健法		
設置条例	新潟市地域保健福祉センター条例		
施設概要	敷地面積3,816.58㎡ 建築面積1,437.38㎡ 延床面積3,263.38㎡ 鉄筋コンクリート造 3階建て 1階 事務室, 茶の間スペース, キッズコーナー, 保育室, ボランティアルーム, 喫茶コーナー, 調理実習室, 交流ホール, 研修室 2階 検診・問診室, 計測・診察室, 機能訓練室, 歯科指導室, 研修室 3階 研修室, 多目的ホール		

施設設置目的	
市民の健康の保持及び福祉の増進に資するため、南区白根健康福祉センターを設置する。	
管理・運営に関する基本理念, 方針等	
<ol style="list-style-type: none"> 1 新潟市地域保健福祉センター条例に基づき、市民の健康の保持及び福祉の増進に資するとともに、市民の保健及び福祉活動を支援するための施設を提供すること。 2 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等の利用が確保されること。 3 利用者や市民などの意見要望を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高めていくこと。 4 利用者に対し、安全及び快適な環境を提供すること。 5 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 6 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費節減に努めること。 7 法令を遵守し、施設の管理運営を適切に行うこと。 	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には5営業日以内に回答	苦情はありませんでした。お茶の間に西日除けカーテンの要望があり設置しました。	A	施設の維持管理に影響する要望であれば積極的に対応して下さい。
財 務	管理運営経費の削減	管理運営経費の削減努力	電力契約の見直し、再委託経費の見直しにより経費の引き下げを行った。	B	
業 務	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて、輕易なものとは即日、時間を要するものは1週間以内に改善対応	改善勧告等はありませんでした。	B	
	安全安心の確保	防災訓練を1回以上実施	消防設備訓練・避難訓練を1回、防犯訓練を1回実施しました。	A	名札の裏に施設情報を掲載することで外部に情報を提供するの新たな工夫である。
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	協定書に基づく研修を1回以上行った。(個人情報保護・危機管理等)	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生0件	事件・事故発生はありませんでした。	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守し、改善にも努めました。	B	
人 材	配置人員の業務理解度と能力習得度の向上	職員研修を1回以上実施	ストレスチェックや特性対応の研修を実施、受講しました。	A	通常業務では気づかない適性や弱点がわかり有効である。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	最賃の遵守、労基法に基づいた管理を実施	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

昨年に引き続き、コロナ禍における影響で自主事業開催は制限されたが5事業、計30回の自主事業を開催することができました。コロナ禍だからこそ実施すべきフードパントリーを今年度も継続して実施することが出来ました。1年間で12回開催できました。また常設しているフードドライブにも定期的に寄贈いただく方が増え、昨年度を上回る寄贈品がありました。すべてフードバンク連絡協議会を通じ、必要とされる人に届くようにしました。加えて今年度、初めて南区社会福祉協議会と連携したフードパントリーも実施することが出来ました。また夏休みには児童センター、ひまわりクラブと連携して、小学生向けに新潟の方便を遊びながら学ぶ機会を設けました。年度半ばごろからコロナの規制緩和を受け、数年ぶりにまちなかコンサートを開催。久しぶりの開催に参加者からは喜びの声も聞かれました。地域交流事業としては、お茶の間へ出向き、音楽提供を、放課後等ディサービスへは音楽遊びを行いました。令和4年度は職員研修としてWebを使い、ICT研修、電子帳簿保存法研修、特性対応の研修やストレスチェックを行いました。コロナ禍における職員のメンタルヘルスを維持し業務に支障が出ないように努めました。年々色々な相談(LGBTの相談、認知症相談、生活相談等々、子育て相談など)での電話や来館者があり、都度、話を伺い、関連団体等に繋がりました。様々な相談が増えてきていることから、来年度は傾聴研修やファシリテーション研修を計画しています。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

今年度は光熱費上昇に伴う例年に無い厳しい管理運営にも関わらず、フードパントリー含む自主事業を多く実施できた事を多いに評価したい。特に白根健康福祉センター開館10周年を迎え、愛称「なごみなみ」が決まり記念式典を実施できたことは一重に指定管理者の日頃の努力、知識、実行力の成果である。今後ともセンターが「福祉の拠点」となり、多世代間の「居場所」になるよう尽力頂きたい。